

議長（茅根猛君） 次，8番菊池伸也君の発言を許します。

〔8番 菊池伸也君登壇〕

8番（菊池伸也君） 8番菊池伸也です。ただいま議長からお許しをいただきましたので，通告に従い，順次ご質問いたします。

最初に，行政サービスの向上と元気なまちづくりについて4点お伺いいたします。

1点目は，お知らせ版や広報紙が配布されていない世帯数の現状とその対応であります。「ひたちおおたお知らせ版」や「広報ひたちおおた」には，さまざまな情報が載せられており，日常生活をしていく上で大変に重要な役割を果たしていると思います。大切な情報誌にもかかわらず，民間のアパートなどに住んでおられる方の中には，全く届けられていないという声を伺っております。現在ほとんどの町会では毎月きちんとお知らせ版や「広報ひたちおおた」が各家庭に回覧板等で配布されているのが現状であると思っております。

そこで，お知らせ版や広報紙が配布されていない世帯数の現状について，また，その配布されていない家庭に対する対応については，行政サービスの向上を図る上においても大変重要であると思いますが，行政サイドとしてはどのようなご努力をされているのかお伺いいたします。

2点目は，予約型乗り合いタクシーの利用状況と登録者の現状についてであります。乗り合いタクシーは，利用者登録をされた方が予約センター専用ダイヤルに電話をし，1回300円の利用料金を支払い，複数の方が一緒に利用するサービスです。水府地区においては利用者が多く，通院などで予約をしても乗り合いタクシーの予約がいっぱいで予約センターに断られるケースがあると伺っておりますが，予約センターから予約を断られることのないようにできないのかどうか。また，利用者の利便性とサービス向上のため，市民バスを含め公共交通の制度について見直しなどのご計画があるのかどうかお伺いをいたします。

3点目は，電気柵や防護ネット等の補助申請の簡略化と有害鳥獣の駆除対策についてであります。イノシシなどから大切な農作物を守るため，電気柵や防護ネット等を使用して積極的に被害防止に取り組まれる方が多くなってきました。補助申請についても以前と比較すると簡単な手続で済むようになってはいますが，高齢者などの中には写真の提出が除かれればと思っている方も多いようです。そこで，写真の提出をなくすことができるのかどうかお伺いいたします。

また，大切な常陸太田の農業を守り，これ以上耕作放棄地を増やさないためにも，行政と市民が一体となって電気柵等の使い方を研究し，地域全体の取り組みで被害防止に努めるなど有害鳥獣の駆除対策には力を注ぐべきであると思います。今年度の予算にもそのための予算計上をされておりますが，さらなる被害防止の駆除対策についてもご検討されていればお伺いいたします。

4点目は，奥久慈トレイル50キロレースボランティア活動についてであります。昨年に続き2回目のOSJ奥久慈トレイル50キロレースが，全国から多くの参加者を迎え，今年の4月に開催されました。たくさんのボランティアスタッフの皆さんのサポートで開催，運営をされていると思いますが，昨年と違ったのは，コースの途中での参加者へのおもてなしボランティアを地域の老人会や公民館の役員の皆さんが自主的に行ったこととあります。大会参加者からはたくさんの感謝の言葉があったと聞いておりますし，ボランティアに参加された方たちも楽しみなが

らやっていたように思います。来年も開催されると聞いております。地域の元気力を高めるためにも大会が盛会に開催されますように、行政でのバックアップが必要であると思いますが、お考えをお伺いします。

次に、居住環境の整備について2点お伺いいたします。

県道33号線における天下野町二区地内の歩道橋整備及び「幻の県道日立山方線の整備事業廃止による約束された道路整備の進捗状況と今後の動向についてお伺いいたします。歩道の整備については工事が進められておりますが、途中の杉林の部分が現在抜けている理由と桜沢橋の箇所についての歩道はどうされるのか、十分に関係部署との協議はされているのかどうかお伺いいたします。設計いかんによりましては天下野町三区側の歩道とつながらないと思います。さらには、今後過疎自立促進計画にも上げられております山田川にかかる桜沢橋のかけかえとともに、県道から天下野町二区集落への取り付け道路の改良にも影響が出ると思います。その他の生活道路の整備につきましては、本定例会に議案として常陸太田市過疎地域自立促進計画が提案されておりますが、今後も町会長さん方とご相談の上、公平な観点から順次実施されるべきであります。

今回は、何年も前の町会長さんが地権者の同意を取り、既に要望書の提出をされている吹上戸屋下線の改良工事と天下野町二区集落への侵入道路と桜沢橋のかけかえ工事についての進められ方をお伺いいたします。

次に、消防救急無線のデジタル化の整備について2点お伺いいたします。

消防救急無線につきましては、平成15年の電波法関係審査基準の改正により、平成28年5月までにアナログ方式からデジタル方式へ移行する必要があります。警察と同じデジタル方式となり、現在のアナログ無線機は使えなくなります。また一方で、災害の高度化、複雑化、大規模化等により、その対応の広域化が求められております。このような状況を踏まえ、消防救急無線のデジタル化に合わせ、県域を1ブロックとして26消防本部が消防救急を共同で整備することとし、本市の消防本部も参加している茨城県消防長会に、各消防本部の消防長で構成する消防救急無線並びに消防指令業務の広域化・共同化推進委員会を設置して、平成19年4月から平成21年12月までシステムの構想や概算の整備費用、整備スケジュールなど、整備の具体化に向けた検討を行ってきたとのこととあります。

消防救急無線を共同整備するメリットとしましては、単独整備に比べ無線基地局を効率的に配置することが可能となり、事業費の節減が図られるなどがあります。さらに、現在消防本部の管轄エリアごとに消防本部と車両の通信が確保されているため、管轄エリアを飛び越えての通信は携帯電話等の手段に限られておりますが、消防救急無線の広域化により消防本部間の通信が可能になります。つまり、消防本部は管轄エリアの外に出動した車両と携帯電話以外で通信が可能となります。

しかしながら、これらが一部の消防本部 日立市、ひたちなか市、東海村などでありますが、「単独で整備」との意思表示が出されたことにより、県内26消防本部が一体となって消防救急無線の共同整備を推進することを目的としている推進委員会がその存在意義を失ったとして廃止されたと聞いております。

そこで、市長にお伺いしたいと思います。市長はこのような結果について、どのように受けとめ考えられているのか。また、消防無線のデジタル化の整備については、市単独で整備していくお考えなのか。それとも隣接の消防本部と一緒に共同で整備していくお考えなのか。今後の整備の考え方について市長のお考えをお伺いいたします。

また、消防救急無線の共同整備に向けて、市では今年度電波伝搬調査の予算を計上しておりますが、今年度この調査を実施するお考えなのかどうか、あわせてお伺いをいたします。

以上で1回目の質問を終わります。

議長（茅根猛君） 答弁を求めます。市長。

〔市長 大久保太一君登壇〕

市長（大久保太一君） 消防救急無線のデジタル化に関するご質問にお答えを申し上げます。

議員ご発言のとおり、これまで茨城県全域を一本化した広域の指令システムを構築しようということで、消防長会を中心として検討をまいりました。先ほどご発言のございました日立、ひたちなか市、そして東海村から「単独での整備」という話となりました。

その背景といたしましては、本当に県全域を一体とした指令本部を立ち上げることに係る県としての考え方が、非常に確立と申しますか強固でないというようなことがありまして、1回だけこれを一本化するための概算費用がこれぐらいになるよということ示されました。しかし、その概算費用に対して、先ほど申し上げました3つの消防本部が費用を検討した結果、自分たちでやったほうが費用が安くて済むというようなことが1つの理由になりまして、この3消防本部から単独整備という意見が出てきたところであります。これが出ました時点でも、茨城県市町村会として県の説明も受けながらかなり激しいやり取りをいたしましたけれども、どうも先へ進むような状況にないというのが現実でございます。

そうこうするうちに、この共同整備を推進する会議が廃止になりまして、各自治体から方針的な回答を求められたということが既にございました。私といたしましては、市単独はほかとの広域連携ができなければ、もちろん市単独でやることになりましてけれども、できれば隣接の消防本部と一緒に共同での整備をするほうが、将来に向けてはその救急防災体制について有益であるというふうに考えた次第でございます。そのように県に対しましては話をいたしました。

次に、電波伝搬調査についてであります。いずれにしましても、これはデジタル化に向けてはこの調査をしませんことには中継局をどうしたらいいかということがはっきりと計画ができませんので、このことについては進めていきたいと思っております。

議長（茅根猛君） 副市長。

〔副市長 梅原勤登壇〕

副市長（梅原勤君） 行政サービスの向上と元気なまちづくりに関しまして、お知らせ版や広報紙が配布されていない世帯数の現状とその対応についてのご質問にお答えをいたします。

「広報ひたちおた」と及びお知らせ版の配布は、現在各町会の協力を得まして回覧板等によりまして各世帯に配布しておりますが、町会に加入していない世帯には届いていない状況でございます。町会に加入していない世帯は、常住人口世帯数と実配付数の差、約1,100世帯となって

ございます。

市では、広報紙が届いていない方々に広報紙を見ていただく方法として、市役所、支所、生涯学習センター、図書館等、公共施設に設置しましてお取りいただくようにするとともに、市のホームページに掲載しまして自由に見ていただけるようにしておるところでございます。また、市民の方に広報紙への関心を持っていただくために、今年度から広報紙の広報ポスターを作成いたしまして、市民バスや公共施設への掲示を始めたところでございます。

町会への未加入から広報紙が届いていない方々への今後の対応といたしましては、各町会を初め、地域の皆様の協力を得て町会への加入促進を一層図るとともに、市民課窓口での転入届出の際に町会への加入を強くお願いしてまいります。またこの他、コンビニ等でも広報紙を受け取れるようにするなど、市の情報の周知環境づくりに一層努めてまいります。

次に、公共交通の予約型乗り合いタクシーの利用状況と登録者数の現状についてのご質問にお答えをいたします。

予約型乗り合いタクシーにつきましては、NPO法人による過疎地域有償運送が行われております里美地区を除く3地区につきまして、平成19年度に3カ月間、20年度に9カ月の試行運行を経まして、平成21年度から通年度の本格運行を始めたところでございます。

利用状況でございますが、平成21年度の年間利用者数は、常陸太田地区で1,610人、金砂郷地区で1,587人、水府地区で2,186人で、合計で5,383人。登録者数でございますが、常陸太田地区で395人、金砂郷地区で237人、水府地区で278人、合計で910人となっております。いずれの地域におきましても利用者数や運行台数、登録者数ともに増加傾向を示しております。

とりわけバスなどの大型車両の進入が不可能な地区を多く抱えております地域におきまして、議員ご発言のように予約受け付けができないような時間帯が発生していることは承知しております。そのため既に事業者との間で対処策の検討に着手をいたしております。その際、運行地域や運行時間帯によって利用状況などが異なりますことから、一律に運行日や運行時間帯、運行台数を増やすことだけでは解決しない問題でございますので、地域ごと、あるいは運行時間帯ごとの利用状況や車両の状況などを分析しまして、効率的、効果的な運行方法の検討を行いながら、新年度からの実施を目指して調整作業を進めてまいります。

また、利用者の利便性とサービス向上のための市民バスを含めた公共交通の見直しについてでございますが、深谷秀峰議員のご質問でお答え申し上げましたが、平成23年3月末のJR常陸太田駅の新駅及び駅前広場の完成に合わせまして、JR常陸太田駅を起点とした新たな公共交通のあり方について、水郡線と路線バスや市民バスなどのアクセスをよくし、市民バスと鉄道の利用促進を図る観点から現在検討を進めているところでございます。

議長（茅根猛君） 産業部長。

〔産業部長 江幡治君登壇〕

産業部長（江幡治君） 行政サービスの向上と元気なまちづくりについての中、電気柵や防護ネット等の補助申請の簡略化と有害鳥獣の駆除対策についてのご質問にお答えをいたします。

初めに、助成申請時における写真提出を省くことによる手続の簡略化についてでございますが、申請手続につきましては、設備を購入した後の事後申請方式に改めるとともに、納税証明書の添付要件をなくすなど、これまでも簡略化に努めてきたところでございます。写真の提出につきましても、この助成事業が市民にとって利用しやすく、より効果のあるものとするために、写真以外の方法による設備設置の確認方法について検討しまして対処してまいりたいと考えております。

続きまして、有害鳥獣の駆除対策についてお答えをいたします。本市の有害鳥獣の駆除対策につきましては、一昨年策定をいたしました鳥獣被害防止計画に基づき実施しているところでございます。現在、8月21日から本年度第3回目の駆除を行っておりますが、鳥獣からの被害を防止するにつきましては、地域と行政が一体となって防護に取り組むことが大切であると考えております。このため、今年から第3期目となります中山間地域等直接支払制度の基本方針の中に、本市独自の施策としまして、集落に有害鳥獣対策担当等を設置することを新たな要件といたしました。

具体的には、集落の中で有害鳥獣捕獲隊が仕掛けたわなの巡回をしていただいたり、集落内の荒れ地をなくしてイノシシが近づかない環境づくりを行うなど、集落としての自己防衛対策の推進を図ることによりまして被害を少なくしようとするものでございます。

有害鳥獣からの被害防止対策につきましては、本市にとって重要な課題と考えております。今後より効果のある防護の方法等について研究をしてまいりたいと考えております。

次に、奥久慈トレイル50キロレースについてのご質問にお答えをいたします。本年が第2回となりましたこのレースは、昨年よりも200名以上多い550名の選手が参加をして行われました。完走率57%と国内屈指の難コースと言われ、また厳しくも温かみのある奥久慈トレイルレースとも言われております。

議員のご発言のとおり、今回はコースの途中で持方、赤岩、寺入、天下野の4地区で手製の横断幕による歓迎や特設テントでの手作りたくわん、梅干しなどの提供、励ましのメッセージを書いた押し花カードの手渡しなど、地域が一体となったおもてなしがございました。多くの選手、大会関係者の方々に大変喜んでいただいたところでございます。このようなおもてなしが参加をした選手を通して、常陸太田市のよさや優しさとして伝わっていくものと期待できると考えております。

この大会を続けるに当たりましては、地域の元気力を高める上からも主催者でありますグリーンふるさと振興機構並びに大会本部と連携を密にしまして、一人でも多くの選手が市内に宿泊するよう誘致に努めてまいりたいと考えてございます。また、今回のように地域が一体となったおもてなしが選手を再び常陸太田市へ呼び寄せてくれるものと思っておりますので、今後も地域の皆様のご協力をいただければ大変ありがたいと考えております。

議長（茅根猛君） 建設部長。

〔建設部長 菊池拓夫君登壇〕

建設部長（菊池拓夫君） 居住環境の整備についてのご質問にお答えします。

最初に、県道山方水府線についてでございます。県道山方水府線は、当初旧山方町から旧水府村までの延長約7.6キロメートルを整備する計画でございましたが、県において現地を詳細に調

査した結果、ルートに当たる西金砂神社北側付近一帯が地すべり地帯で、さらに地形が急峻なため、道路整備計画の見直しを行い、これにより旧水府村において天下野町の集落内約750メートルを整備し、その先線を中止することで地元の承諾が得られているところでございます。

その後の750メートル区間の整備状況でございます。県道入り口から約600メートルにつきまして道路の整備をしたと伺っております。残り約150メートルについてでございますが、同じく道路整備を進めるよう県に要望してまいりたいと思います。

次に、県道常陸太田大子線の天下野二区地内の歩道整備についてお答えいたします。この件につきましては、歩道整備を南側から継続し進める計画としてでございます。進捗状況でございますが、昨年度に延長143メートルを整備し、残りの区間となります108メートルについても今後至急整備を進めていくことと伺っております。また、県道にかかる桜沢橋への歩道設置ですが、歩行者の安全を図るため、整備するよう県に要望してまいりたいと考えております。

次に、その他の生活道路整備についてのご質問にお答えいたします。

最初に、市道吹上戸屋下線についてでございます。この路線につきましては、地元より平成20年度に工事要望書をいただいているところでございます。しかしながら、用地等の課題もございまして、事業に取り組むまでには至っておりませんでした。その後、町会と市によりまして協議した結果、本線を一部修正することで整備することが可能となりましたことから、来年度事業化に向けて取り組んでまいりたいと考えております。その際はご協力をよろしくお願いしたいと思っております。

次に、桜沢橋のかけかえについてでございます。桜沢橋を初めとします橋長15メートルの永久橋につきましては、国の橋梁長寿命化修繕計画策定事業補助制度を活用いたしまして整備することとしているところでございます。現在まで点検調査を完了し、平成23年度にかけかえを含めた長寿命化修繕計画を策定する予定となっており、整備についてはその中で検討してまいりたいと考えております。

また、桜沢橋を含めましたこの地区の道路整備についてでございます。県道常陸太田大子線に接続している取り付けが鋭角となっていることから利用しづらい状況にあります。このため、今後地元の皆様方のご意見等をいただき、また県とも協議をいたしまして、安全が確保され、この地区の利便性向上が図られるような道路整備の計画を策定し進めてまいりたいと考えております。

議長（茅根猛君） 8番菊池伸也君。

〔8番 菊池伸也君登壇〕

8番（菊池伸也君） ただいまは大変前向きな答弁、感謝をいたします。2回目でありますけれども、何点か要望をしておきたいと思っております。

最初に、お知らせ版や広報紙等についてのことでありますが、先ほど答弁していただきましたけれども、1,100世帯ぐらいの方が町会に入っていないということに大変驚いております。ぜひ町会の加入も含め、市の大切な広報が確実に届くように配慮していただきたいと思っております。

次に、有害鳥獣の駆除、電気柵や防護ネット等の補助申請の簡略化と有害鳥獣の駆除対策についてでございますが、これについては十分に駆除の方法等も研究されているようでありますので、

この収穫時期が終わった後も田畑が荒らされることのないような方法も含めて、今後とも頑張っ
てやっていただきたいと思っておりますので要望をしておきます。

さらに、奥久慈トレイル50キロレースのボランティア活動についてであります。答弁して
いただきました中にもありましたが、600人近い方が参加されるわけですから、水府あ
るいは里美と泊まる場所はありますので、ぜひPRのほうをよろしくお願ひしたいと思います。

それから、居住環境の整備でありますけれども、山間部に行くほど大変過疎化、人口減少が進
んでおりますので、そういう中で、今度提案されている議案にもありますが、生活道路は大変重
要な役割を果たしておりますし、ぜひ整備を積極的に進めていただければと思っておりますので
要望しておきます。

最後にもう一点、消防のデジタル化についてであります。消防の広域化、デジタル化につい
ては今後とも進めていく方向であるということですので、ぜひ広域化の効果というものを考えれ
ば、積極的に県に働きかけ、あるいは廃止された推進委員会がまた立ちあがって一体となってや
れるような方向でやっていただきますように、市長あるいは消防長からぜひよろしくお願ひした
いと思います。

以上で私の一般質問を終わりにします。